
米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)
(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)
(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))が
「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2021」
投資信託部門(株式型 米国 インカム)[評価期間 3年]
におきまして『最優秀ファンド賞』を受賞しました。



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2021 WINNER
JAPAN

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードについて

世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、lipperfundawards.comをご覧ください。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)
(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))
追加型投信／海外／株式

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、作成基準日現在、年率1.595%(税抜1.45%)の信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

基準価額	9,790 円
純資産総額	27.1 億円

※基準価額は1万口当たりです。

騰落率	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前	3年前	設定来
分配金再投資基準価額	▲ 3.59%	3.77%	12.15%	37.50%	42.74%	104.59%
S&P 500指数(円換算後)	▲ 1.97%	2.81%	11.33%	38.26%	47.43%	111.48%

※騰落率は、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の各月の月末及び設定日との比較です。

※設定来の騰落率は、1万口当たりの当初設定元本との比較です。

※S&P 500指数(円換算後)は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

※S&P 500指数(円換算後)の騰落率は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

最近5期の分配金の推移	
2020/9/28	0 円
2020/12/28	900 円
2021/3/26	950 円
2021/6/28	1,050 円
2021/9/27	650 円
設定来合計	7,700 円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

ポートフォリオ構成比率	
株式	91.4%
(内国内株式)	(0.0%)
(内外国株式)	(91.4%)
(内先物)	(0.0%)
短期金融商品その他	8.6%
マザーファンド組入比率	97.9%
組入銘柄数	80銘柄

※上記はマザーファンドを通じた実質比率です
(マザーファンドの組入比率を除く)。

※銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)

(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))

追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株マザーファンドの状況

組入上位10銘柄

	銘柄名	セクター	比率	銘柄概要
1	アルファベット	メディア・娯楽	2.7%	子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、業務用ソリューション、eコマース、ハードウェア製品などを提供する。
2	ガートナー	ソフトウェア・サービス	2.2%	IT関連調査会社。コンピューターのハードウェアやソフトウェア、通信、および関連する情報技術産業に調査、分析サービスを提供する。事業分野は、調査、コンサルティング、測定、催し物、経営者向けプログラムなど。
3	プロクター・アンド・ギャンブル (P&G)	家庭用品・パーソナル用品	2.0%	消費財メーカー。世界各地で製品を販売する。主な製品は、洗剤、清掃用品、紙製品、美容製品、食品・飲料、ヘルスケア用品など。量販店、食品雑貨店、会員制小売店、薬局、地域型小売店を中心に製品を提供する。
4	インテュイット	ソフトウェア・サービス	2.0%	ソフトウェア・メーカー。中小企業、金融機関、消費者、会計士向けの業務・財務管理用ソフトウェア・ソリューションを開発、販売する。小規模企業の業務管理と給与処理、パーソナル・ファイナンス、税金確定申告などを支援するソフトウェアを提供する。
5	ターゲット	小売	1.9%	総合ディスカウントストアの運営会社。マーチャндаイジング業務に注力し、日用品や食品のディスカウント小売店とオンライン店舗を手掛ける。自社クレジットカードも発行する。
6	プリンシパル・フィナンシャル・グループ	保険	1.8%	金融サービス会社。法人、個人、および金融機関を対象に幅広い金融商品とサービスを提供。退職後のソリューション、生命・健康保険、ウェルネス・プログラム、投資・銀行商品を手掛ける。
7	アクセンチュア	ソフトウェア・サービス	1.7%	コンサルティングサービス会社。管理および技術コンサルティングサービスとソリューションを手掛ける。世界中のあらゆる業界の顧客を対象に特殊技術とソリューションを提供する。事業分野は、コンサルティング、技術、アウトソーシング、提携など。
8	ドーバー	資本財	1.7%	工業機械メーカー。工業用設備および機械の製造に従事。主な製品は、印刷、識別、マーキングおよびコーディング・システム、廃棄物処理、産業機器、冷蔵システム、陳列ケース、工業用ポンプ、燃料ディスペンサー、ノズル、配管、電子タンクゲージ器具など。世界各地で事業を展開。
9	アメリカン・ファイナンシャル・グループ	保険	1.7%	損害保険会社。課税繰延年金保険、生命保険、補完的医療保険などの商品も販売する。米国で事業を展開。
10	UGI	公益事業	1.5%	エネルギー会社。エネルギー製品の流通販売とサービスを提供する。国内外でプロパンガスの流通も手掛ける。米国中部大西洋岸地方では、天然ガスや電力の流通販売および関連製品の販売・サービスに従事する。

※銘柄は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

外国銘柄の日本語表記は、QuickFactSet、Bloombergを参照しております。

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)

(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))

追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株マザーファンドの状況

組入上位10セクター

	セクター名	比率
1	ソフトウェア・サービス	14.3%
2	資本財	9.6%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.5%
4	ヘルスケア機器・サービス	8.0%
5	各種金融	5.7%
6	小売	5.2%
7	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.9%
8	保険	4.7%
9	公益事業	4.3%
10	食品・飲料・タバコ	4.1%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

ファンドマネージャーのコメント

【米国株式市場の投資環境見通し】

9月の米国株式市場は下落しました。米連邦準備制度理事会(FRB)による量的金融緩和政策の縮小に対する警戒感や、中国の不動産開発大手である中国恒大集団の債務不履行への懸念などから、売り優勢の展開となりました。21～22日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)では、早ければ年内に量的金融緩和政策の縮小が開始されることが示唆されました。FOMC後に市場は反発したものの、米長期金利の上昇が重石となり、月末にかけては再び売られる展開となりました。

業種別では、原油価格の上昇を受け、エネルギー株が上昇率トップとなりました。また、長期金利の上昇が好感された金融株も市場をアウトパフォームしました。一方、製造コスト上昇による利益率の低下が懸念された素材株が市場を上回る下落率となりました。また、コミュニケーション・サービス株も、市場をアンダーパフォームしました。

為替市場では、円が米ドルに対して下落する円安の動きとなりました。

今後の米国株式市場は、短期的には上値の重い展開が予想されます。2021年前半は大幅増益となった企業業績ですが、原材料価格や人件費の上昇、サプライチェーンの混乱などから、上方修正のトレンドに頭打ち感が出ています。また、早ければ年内にもFRBによる量的金融緩和政策の縮小が開始される見通しであり、利益確定の売りが出やすい相場展開が予想されます。

【運用経過及び運用方針】

9月の運用は、長期にわたって連続して増配している企業及び中長期的な成長が期待される企業などの株式を組入れたポートフォリオで運用しました。投資行動としては、株価バリュエーション面での割安感が高まったと判断した資本財株及び小売株を買付けました。一方、ヘルスケア機器・サービス株及び公益事業株の一部を売却しました。

今後の運用方針は、ファンドの基本方針に基づき、りそなアセットマネジメント株式会社からの投資助言を参考に、投資環境や業績動向などを勘案して銘柄選別を行います。財務の健全性が高く、安定的なキャッシュフローの拡大が期待できるソフトウェア・サービス株や資本財株などを高位にウェイト付けします。また、来年度以降の業績拡大が期待できるエネルギー株及び素材株の買付けを検討します。

※ 今後の運用方針等は、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。また、市場環境等についての評価、分析等は、将来の運用成果を保証するものではありません。

ファンド情報

設 定 日	2016年3月29日
償 還 日	2026年3月26日
決 算 日	毎年3月、6月、9月、12月の各月の26日(休業日の場合は翌営業日)

ファンドの特色(1)

1 長期にわたる米国の連続増配銘柄および米国の経済環境や社会構造の変化をとらえることで高い成長が期待できる銘柄に投資します。

- 実際の運用は米国連続増配成長株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて行います。



2 ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析を行い、各銘柄の流動性および市況動向等を勘案して行います。

3 銘柄選択に関してりそなアセットマネジメント株式会社から投資助言を受けます。



りそなアセットマネジメント株式会社は、金融商品取引法、その他の関連する法令等を遵守して、ファンドの銘柄選択に関して投資助言を行います。

※投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無については、変更する場合があります。

4 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本とします。

5 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの特色(2)

● 分配方針

年4回、3月、6月、9月および12月の各月の26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

- 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
- 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

※分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク(1)

 基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

● 主な変動要因

株価変動リスク

株式の価格は、発行会社の業績や財務状況、株式市場の需給、政治・経済状況等の影響により変動します。

為替変動リスク

外貨建資産は、為替相場の変動により円換算額が変動します。投資対象通貨に対する円高により、外貨建資産の円換算額は減少し、円安により、外貨建資産の円換算額は増加します。

信用リスク

有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となることがあります。

● その他の変動要因

流動性リスク、カントリーリスク

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

投資リスク(2)

 その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払い下さい。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までとし、販売会社所定の事務手続きが完了した場合に、当日の受付として取り扱います。
換金制限	ありません。
購入・換金 申込不可日	以下に該当する日は、購入・換金申込の受付を行いません。 ・ニューヨークの取引所の休業日
購入・換金 申込受付の 中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
信託期間	2026年3月26日まで(2016年3月29日設定) ただし、投資者に有利である場合等は、信託期間を延長することがあります。
繰上償還	受益権口数が5億口を下回ることとなった場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
決算日	毎年3月、6月、9月、12月の各月の26日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 「分配金再投資コース」の場合、収益分配金は、税金を差し引いた後、決算日の基準価額で再投資します。
信託金の限度額	5,000億円
公告	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 https://www.okasan-am.jp
運用報告書	3月および9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用				
購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)に、販売会社が独自に定める購入時手数料率を乗じて得た額 購入時手数料率の上限は、3.3%(税抜3.0%)です。 購入時手数料率は変更となる場合があります。 詳しくは販売会社にご確認下さい。			ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
信託財産留保額	ありません。			
投資者が信託財産で間接的に負担する費用				
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年率1.595%(税抜1.45%)			
	配 分	委託会社	年率0.70%(税抜)	委託した資金の運用の対価です。
		販売会社	年率0.70%(税抜)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
		受託会社	年率0.05%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
その他費用・ 手数料	監査費用:純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)			
	有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。 ※運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。			

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料(監査費用を除きます。)はその都度、投資信託財産から支払われます。

※ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

委託会社および関係法人の概況

委 託 会 社	岡三アセットマネジメント株式会社 (ファンドの運用の指図を行います。) 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受 託 会 社	株式会社りそな銀行 (ファンドの財産の保管及び管理を行います。)

2021年9月30日現在

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)(愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型))

販売会社について

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長(金商)第2410号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			
PayPay銀行株式会社	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

ご注意

- ・本資料は岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。投資信託説明書(交付目論見書)の交付場所につきましては「販売会社について」でご確認ください。
- ・本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- ・本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。